

型番

AEE690125・GEE690133・VEE690131

お客様へ

コイズミ照明器具用部品をお買い上げいただきありがとうございます。
 ご使用前にこの取扱説明書をよくご覧の上、正しくご使用ください。

保存用

【安全上のご注意】



注 意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると
 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。



禁止

指定以外の電池、種類の異なる電池や古い電池を混ぜて使用しないでください。極性表示の通りに電池の"+"
 "-"を正しく入れてください。また、充電式(Ni-Cdなど)電池は使用できません。
 →電池が発熱して、破裂・液もれの原因になります。

■定格

型番	適合電池
AEE690125・GEE690133・VEE690131	単3形電池 2本

■リモコン送信機のご使用方法

※この図は一部抽象化した共通部品図です。
 ※部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。

順送りボタン

全灯 → 全灯段階調光 → LED保安灯 → 消灯

の順送りが可能です。

30分オフタイマーボタン

30分後に器具が消灯します。

60分オフタイマーボタン

60分後に器具が消灯します。

タイマー解除ボタン

消灯ボタン

全てのランプが消灯します。
 ※タイマー起動時はタイマーも解除されます。

調光(▲▼)ボタン

点灯時の明るさを調整できます。
 蛍光灯(100%~10%)、LED保安灯を
 お好みの明るさに調整できます。(周囲
 温度約25℃時)
 ※調光状態は、室温、器具状態によって
 多少変化します。

チャンネルスイッチ

2台の照明器具を個々に操作する場合に照明
 器具側のチャンネルと合わせます。

<2台の照明器具を操作する場合>

一室で2台の照明器具をリモコン送信機で
 操作する場合は、どちらか一方の照明器具
 のリモコン受信部のチャンネルを1にし、
 他方を2にしてください。
 (照明器具のチャンネル設定については、
 照明器具の取扱説明書をご確認ください。)

蓄光マーク

KOIZUMI

順送り

▼▲

30分OFF

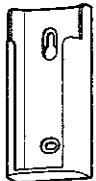
60分OFF

タイマー解除

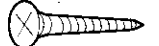
消灯

CH1 CH1

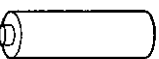
<付属部品>



ホルダー・・・・・・・・1個



取付用木ネジ・・・・・・・・2本



単3形電池・・・・・・・・2本

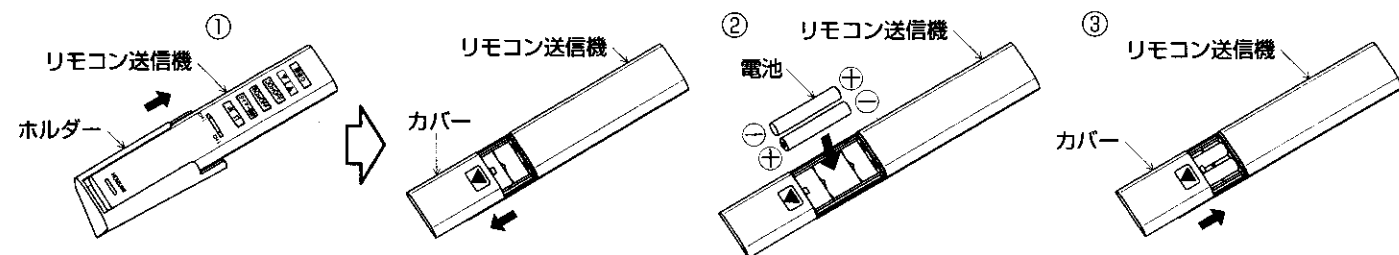
コイズミ照明株式会社

再生紙を使用しています。

取説No. E101-017 MC/T・T

1 リモコン送信機をホルダーから取出す

- ① リモコン送信機裏側のカバーを手前に引き、カバーを外す。
- ② 電池の極性を表示に合わせて入れる。
- ③ カバーを取付ける。



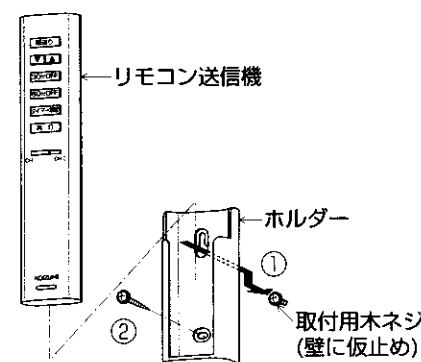
お買い上げ時にセットされている電池はモニター用電池ですので、早く切れることがあります。あらかじめご了承ください。

2 リモコン送信機を壁などに取付ける場合

- ① 必ず付属の取付用木ネジ1本を壁に仮止めしてから、ホルダーを引っ掛ける。
- ② 2本目の取付用木ネジを取付けてから仮止めの取付用木ネジをねじ込み、固定する。

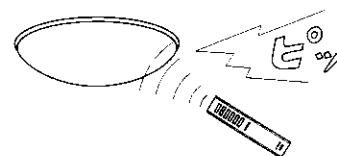
※その際、強く締め込まないようにする。ホルダーが破損するおそれがあります。

※操作する場合はホルダーから取り出し、器具に向けて行なってください。



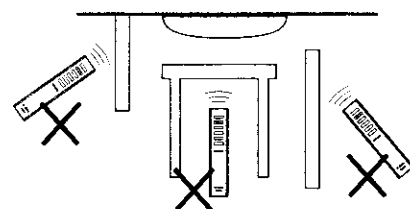
3 リモコン送信機を操作

すると確認音が照明器具よりします。



4 使用上のご注意

- このリモコン送信機は、コイズミ照明器具専用です。リモコン式テレビなどには使用できません。他社の照明器具が動作する場合がありますが故障ではありません。その際は、器具とリモコン送信機のチャンネルを切り替えてください。
- 電池の寿命は、1日10回の常温使用で約半年です。電池は半年を目安に、必ず2本同時に交換してください。※充電式電池は使用できません。
- リモコン操作時に、照明器具側のリモコン受信部の向きにより作動しにくい場合がありますが故障ではありません。リモコン送信機の向きを変えてリモコン操作してください。
- 照明器具によっては、反応が遅い場合がありますが故障ではありません。
- ボタンを早く押すと反応しない事がありますので、ゆっくり操作してください。
- 長時間使用しない場合は、壁スイッチをOFFにしてください。リモコン送信機で消灯した場合、照明器具側に待機電力がかかり電力を消費します。
- 壁スイッチで電源を切った場合は、リモコン送信機を操作しても器具は動作しません。壁スイッチで電源を入れてから操作してください。
- リモコン送信機は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。故障の原因になります。
- 温度の高くなるものの近くでは使用しないでください。過熱・故障の原因になります。
- 室温が低い場合は、点灯直後の再操作に時間がかかることがあります。器具内の温度が上昇すると正常に戻ります。
- リモコン送信機の発信部が汚れますと作動しにくくなります。乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取ってください。
- リモコン送信機の周囲にしゃへい物がある場合、作動しない場所があります。しゃへい物をさけてリモコン送信機を操作してください。
- 器具をご使用になる部屋の天井・壁・床などの色が黒っぽいとリモコン送信機が作動しにくい場合があります。



■タイマーの設定について

※タイマー設定の信号音

信号音	タイマー設定
ピーピー	タイマー設定
ピーー	タイマー解除
ピー	点灯状態変更 (タイマー継続)

オフタイマーボタン (30分または60分) を押す。

タイマーモード → 消灯モード

タイマー設定時の器具器具の点灯状態

- 全灯(調光)の場合 → 全灯(調光)
- 保安灯の場合 → 保安灯点灯
- 消灯の場合 → 消灯

器具が消灯状態の時は、タイマー設定はできません。

タイマーを作動させるには

壁スイッチをONにする。 → オフタイマーボタン (30分または60分) を押す。 → タイマー作動。 → 全灯(調光) または 保安灯

注) 器具が消灯している時は作動しません。

タイマー作動中に点灯状態を変えるには

どの点灯状態でも 順送りまたは調光のボタンを押す。 → タイマー継続。 → 選択した点灯状態

タイマー時間の更新

全灯または調光の場合 → オフタイマーボタン (30分または60分) を押す。 → タイマー更新。新たに30分または60分のタイマーが設定されます。 → 全灯(調光)

保安灯の場合 → オフタイマーボタン (30分または60分) を押す。 → タイマー更新。新たに30分または60分のタイマーが設定されます。 → 保安灯点灯

タイマーを解除させるには

どの点灯状態でも タイマー解除ボタンを押す。 → タイマー解除。 → 点灯状態はそのまま

どの点灯状態でも 順送りで消灯または消灯ボタンを押す。 → タイマー解除。 → 消灯

どの点灯状態でも 壁スイッチを3秒以上OFFにする。 → タイマー解除。 → 消灯